

インバウンドコラム

英語 SEO 最新リサーチ

Google スニペット調査 世界絵文字の日

過去数カ月間、Google は検索スニペットの長さ 140~160 文字を 300 文字以上へ増やし、またもとの文字数へ減らしています。Google はどうやってスニペットを生成しているのでしょうか。「ページ コンテンツよりもページの概要をユーザーに正確に説明できると判断した場合、<meta> タグのコンテンツを使用してスニペットを生成することがあります」と Google は、言っています。「~のやり方」など情報収集系のキーワードと e コマースキーワード、それぞれ 1000 ずつ上位 10 位ページを調査し、スニペットが本文とディスクリプションタグどちらからとられているのか確認しました。また、本文から取られているページは、ページのどの部分からかと、検索キーワードが、全てディスクリプションタグに入っている(= 検索意図により正確)かもチェックしました。e コマースでは、Google は 44.7%をディスクリプションタグのみから、35.5%は本文のみ、両方を組み合わせたスニペットは 20%でした。(参照※1、グラフ a)情報収集系では、ディスクリプションからのみ 22.3%、本文のみ 53.8%、両方から 23.9%でした。商業系が情報系より 2 倍近くもメタディスクリプションからスニペットを生成しているのは、e コマースページは、例えば製品ページの場合、製品名とかんたんな説明文やレビューのみで、情報系よりコンテンツが少なく、製品名など検索キーワードがメタディスクリプションと合致することが多いことが要因と考えられます。また、本文をスニペットに利用する場合は、最初の 20%ほどが頻繁に使われています。(参照※1)

グラフa eコマースページ スニペット生成比率

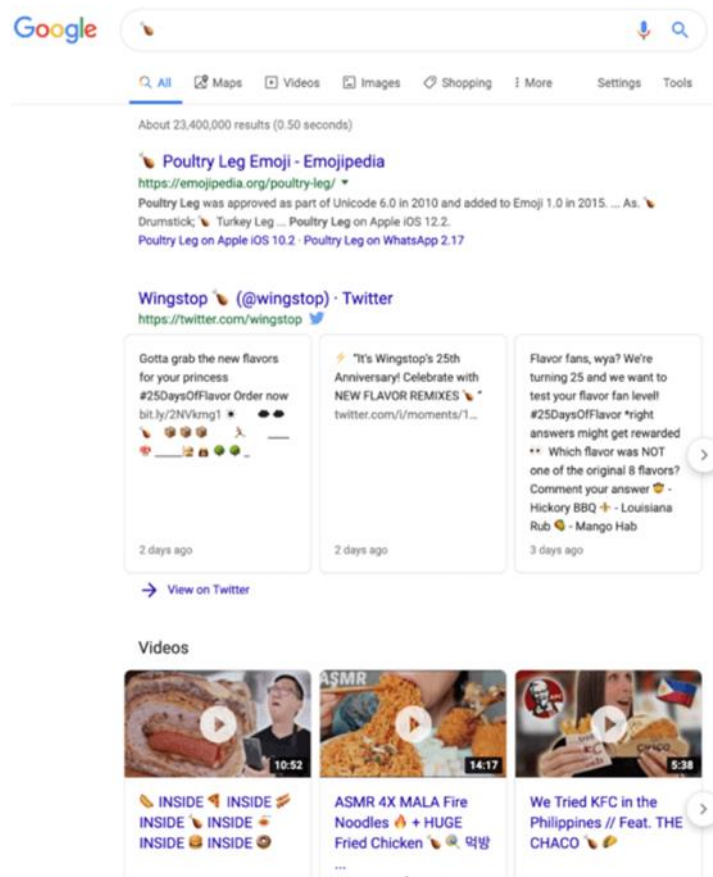


出典元:SerpStat

7月17日は世界絵文字の日です。絵文字で検索もできることはご存知ですね。特に動画コンテンツ SEO での絵文字使用は、アイキャッチに効果的です。船の絵文字検索結果では、同じ絵文字をタイトルに使っているドラマの動画が、動画

カルーセルの中でひときわ目を引きます。チキンの絵文字検索では手羽先レストランで有名なウイングストップの Twitter アカウントが、とても目立っています。(※2、図 1)もし、使いたい絵文字があれば、Google トレンドでその絵文字が、どれくらい検索されているのか、知ることもできます。(参照※2)

図 1 チキン絵文字 検索結果画面



出典元:Search Engine Land

※1 説明文と本文 検索スニペット調査

<https://serpstat.com/blog/how-are-search-snippets-formed-research/>

※2 動画 SEO には絵文字 - Search Engine Land

<https://searchengineland.com/emoji-seo-presents-opportunities-for-video-319615>